これでもか！のハード系エアロ攻勢で レーシーさを不動のものにするっ！

ハードイメージのエアロを全身に巻つければ、それだけでも「レーシー」な演出には近づける。といってもフルエアロだけでは出し切れないきめ細やかなレーシーなディテールは、やはりスパイスの効いた小物アイテムでカバーしてやりたい。味元クンのMR2はそんな痒いところに手が届いた優秀な作品のひとつ。

ハードな匂いが充満するガレージ福井のエアロをメインとし、サブにトムス、あとはブランドミックスで全身隈なくパーツで埋めつくした手法。本人いわく、さすがに当初はここまで〝具だくさん〟にするつもりはなかったという。でもひとつのパーツをキッカケに「これも付けたい、あれも付けたい、あっこれも」といった具合に、じつにドレスアッパーの心を忠実に反映した結果、ここまでに至る。

ただ彼の場合、こうした過程のなかでも「パーツ点数が多くなってもボディラインは崩さない」と、パーツ選びにも細心の注意を払いながら進めて行く。キーワードを〝レーシー〟に絞って、エアインテークにボンネットフード、80スープラ用のビッグキャリパーにローターと、とくに機能に直結するパーツ群を絶妙の選球眼で見極め、仕上げたのだ。

また、このエアロメイクをさらにパワーアップさせているのがボディの特注色オールペンであり、これまたブルーで統一したインテリア。オールペンのブルーはパールを少しだけ混ぜてはいるが、一見して渋めの色合い。少し鈍い輝きも〝これくらいのほうがMR2には似合ってる〟、そう実感させられる。レカロのSP-Rを2脚にウィランズのフルハーネスと、ハードなアイテムを著ったインテリアのほうはかなりスパルタンな様子。このあたりはすでにエンジン内部にまで手を入れた〝3S-GTE〟の換装に備えてのこと。今はそのコンプリートエンジンが味元クンを待っている状況なのだ。

このチューニングメニューに加えてはボディのワイド化を当面の目標として挙げている。彼の場合はあくまでもバージョンアップ＝レーシーといった図式がセオリーなのだ。

①ガレージ福井②トムス③オートビスタ④ガレージ福井⑤ヴェイルサイド⑥トムス⑦カロッツェリア＋ロックフォード⑧レカロSP-R×2⑨カロ・シザル⑩トライフォース・ゼルダ（8×17：9×18）⑪グランプリM7：アドバン・ネオバ（215／45：256／35）⑫オーリンズ⑬ベステックス⑭レガリスR⑮トムス・エアインテーク／Rルーバー加工　インパル・フューエルインテークパネル　ガレージ福井ダウンフォースウイング／エンジンボンネットフード　ボディ・オールペン　ポメックス・エアロミラー　⑯トムス・カーボンメーターパネル　センターコンソール他ブルーペイント　K's赤文字スピードメーター　オリジナル・ドアスピーカー／オーディオボード　ウィランズ・シートベルト　その他⑪80スープラ用純正ブレーキローター&キャリパー　ラムズ・ブレーキパッド

達人ドレスアッパー育成計画
ストリートレーシーを極めろ！

フルエアロ＋アクセサリー

'97 9月 CR